

「親としてどうかかわる？スマホ・タブレットと子育て」

チェックフィールド株式会社 代表取締役 目代 純平

【スマホ・タブレットが身近になった子どもたち】

最近、子どものころからスマホやタブレットに触れる機会も多くなってきました。これらの機器は常にインターネットにつながっています。それは、常に世界中とつながっているということを意味しているのです。きちんとした使い方を知らず使用しないと危ない目に遭うこともあります。特に今年はコロナ禍が長引き、度重なる外出自粛要請などにより、子どもたちが自宅で過ごす時間も増えています。そのせいで、外遊びができずに家で過ごす子どもたちは、どうしてもスマホやタブレットで動画を見たり、ゲームをしたりする時間が増えてしまっているのではないのでしょうか。



近年各学校でもタブレットを使った学習が始まり、それらの配布も始まっています。タブレットでは、いろいろな教材が動画や写真などと一緒に見られますし、双方向の学習もできるので、これからの学習の一部に取り入れることに関しては反対しません。しかし、学校で配布されるタブレットは、勝手にインターネットサイトに接続できないように制限されているとはいえ、クラスチャットや掲示板の書き込み機能などがあるため、ルールを知らずに使用すると正しい学習ができないばかりか、トラブルが発生する可能性もゼロではありません。一般のスマホやタブレットを使う時と同様、きちんとネットリテラシー（ネットやITを使うことに伴う危険性やマナー、責任など）を学んでから使用するべきです。

【子どもと一緒にルールを決めよう】

その第一歩として、各家庭で使用上のルールを決めて、それを守ることが必要です。例えば「1日の使用時間を決める（2時間までなど）」、「食事の時は触らない」、「自分の部屋に持ち込まない」、「知らない人とメッセージを送り合わない」、「ネットで知り合った人とは会わない」などで、これらはより具体的にすることが重要です。また、親が一方的に決めたルールを子どもに押しつけても、なかなか守られない結果となります。きちんと親子で話し合う時間を作り、子どもたちも納得したルールを作って、子どもたち自身に宣言させることが大切です。そして、子どもにルールを守らせるためには、親も意識してそれを守ることが必要なのです。ですから、食事の際に親がスマホを触っていたのでは説得力がなくなってしまいます。



【親子で話し合おう】

ルールを作る目的は、子どもにいじわるをするためではなく、当然ながら子どもたち自身を守るためです。ネット上のトラブルは一度起こると取り返しのつかないことになったり、後々まで半永久的に子どもの人生に影響を与え続けるような深刻なものが多くあります。これらのことを実例を挙げて子どもたちにもきちんと話し、その上でルールについて話し合うことが大切です。子どもたちも、自分から進んで痛い目に遭いたくないわけではないのです。

スマホやタブレットなどのツールは、これからもどんどん進化して便利になっていくことでしょう。しかし、それらは道具に過ぎないものであり、使う側の人間がきちんと管理して、「人間の生活を便利にするために」使用するべきものです。残念ながら、これらの便利すぎる道具に支配されて疲れ切っている人が最近増えてきているように感じています。そうならないように、今からでもスマホ・タブレットの使い方について親子で話し合う機会を作ってみてください。

